

い か ご I K A G O 通信

滋賀県湖北地域振興局木之本建設管理部
〒529-0426 滋賀県伊香郡木之本町黒田1234
TEL 0749-82-3434 FAX 0749-82-2654
E-mail ha3602@pref.shiga.jp
URL <http://www.pref.shiga.jp/h/ki-doboku/>

あけましておめでとうございます

年明けとともに、ここ湖北地方にも冬将軍が本格的に到来し、雪が舞う日には各地で除雪車が大きなエンジン音を響かせながら動きます。

除雪作業は、雪国では見慣れた光景の一つですが、木之本建設管理部では冬期の大きな仕事のひとつとなっています。冬期の安全で円滑な交通を確保するため、万全の体制で挑みます。



お知らせボックス

毎年のお願いですが……！！
除雪時にはこんなことで困っています。

1. 屋根の雪下ろしは同じ日時に！！

交通の円滑化を図るために、屋根雪下ろしは、町内会や区で申し合わせて同じ日時に行い、必ず道路上から排雪して下さい。

2. 消雪パイプがある道路には雪を出さないで！！

消雪は道路上に降る雪しか溶かすことはできませんので、道路に雪を出さないで下さい。

3. 道路上に車を駐車しないで！！

除雪作業の妨げになりますので、道路上での駐車はご遠慮下さい。

4. 道路にはみ出る木や竹は、早めに伐採を！！

降雪により道路へはみ出すことが予想される木や竹などは、事前に所有者で伐採して下さい。

5. 歩道の除雪は地元の皆様で！！

幹線道路の交通確保に努めています。皆様のご協力をお願いします。



かたつむり作戦 うっ・・・こんなものが捨てられていました(; ;) ウェン

県土木交通部では、効率的、効果的な事業執行に努めながら、地域の実情に応じた公共土木施設の整備や管理を行っています。

その一環として、道路や河川の施設管理者が歩行者や利用者の立場に立って、自転車や徒歩により管内の公共土木施設を急がずじっくり巡視・点検することで、道路等の安全な利用や多自然型川づくりによる生態系の状況などについての現状や課題を把握するため、「土木交通部かたつむり作戦」を実施しています。

木之本建設管理部では、9月12日、18日に道路、10月28日に河川の巡視・点検を行いました。

今年も巡視中に目に付くゴミを拾い集め、環境保全の取り組みを実施しましたが、余呉川の下流部では、ふとんや食器乾燥機、オートバイのガソリタンクな

ど、びっくりするような粗大ゴミの不法投棄がありました。余呉川の泣き声が聞こえてきたようで、改めて河川の環境保全について、皆様のご協力をお願いします。



オートバイのガソリタンク



食器乾燥機、ふとん

ことばNOW

シックハウス症候群 しょうこうぐん

『シックハウス症候群』・新築やリフォームした住宅に入居した人の、目がチカチカする・喉が痛い・めまいや吐き気・頭痛がする等の症状を言います。



『シックハウス症候群』の原因の一部は、建材や家具等から発散されるホルムアルデヒド等の化学物質によるものと言われており、平成15年7月1日から、これらを含む建材について使用規制をする等の改正建築基準法が施行されました。

しかし、この改正建築基準法が守られているからといって『シックハウス症候群』にはならないというも

のではありません。家具やたばこ、化粧品等にもこの化学物質は含まれており、普段の生活様式にも深く関わっているからです。

特に、気温及び湿度が共に高くなる夏期や締め切った状態で暖房をしている部屋などは、その発散率が高くなると言われています。換気を充分行うなど、生活上に於いても充分気をつけてください。

化学物質の主な発生源



古道紀行

塩津街道 しおつ

- 西浅井町塩津浜 - にしあざい しおつはま

日本海の敦賀と湖北を結ぶ二つの街道があります。西が西近江街道(現国道161号)、東が塩津街道(現国道8号)です。塩津街道は、福井県敦賀から深坂、沓掛、塩津中を経て塩津浜に至ります。

平安時代から江戸時代まで、北陸からの物資が敦賀から塩津街道を通り塩津浜へ辿り着き、ここで丸子船

に積み込まれ琵琶湖を縦断して大津へ、そして京・大阪へと運ばれていました。塩津街道は日本海地方と畿内を結ぶ大動脈であり、最盛期の寛永年間(1624~1644)には、北陸より年間30万石もの米が塩津浜を通り、京・大阪まで運搬されたといえます。



常夜灯 天保5年建立(1834)
海道繁栄の文字が刻まれています。



塩津浜集落の旧道沿いの風景
回船問屋や造り酒屋、旅籠だった建物が残っています。

各課紹介 けいかくちょうせいか 計画調整課 計画調整担当

滋賀県では、平成13年4月に総合地方機関「地域振興局」を新設しました。木之本土木事務所は湖北地域振興局木之本建設管理部として再編しました。各建設管理部には、政策調整、立案機能を強化するため、計画調整課を新設しました。できてまだ3年足らずですが、今後ともよろしくお願いたします。

では、湖北地域振興局木之本建設管理部計画調整課計画調整担当（ながーい名前（^^;））の主な業務内容を紹介します。

主な業務内容（計画調整担当）

- ・地域振興施策の企画および調整。
- ・主要事業の計画立案。
- ・土木行政に係る国、市町等との総合調整。
- ・工務と用地および管理の総合調整。
- ・災害防止（土砂災害防止法等）に係る調査。
- ・事業の進行管理に関すること。
- ・公共工事の環境対策およびコスト縮減対策に係る業務の調整。
- ・危機管理計画（除く・水防計画、雪寒計画）。
- ・防災行政無線の管理。
- ・ホームページやIKAGO通信などによる情報発信。

余呉湖ダム えんてい 堰堤改良事業



余呉川管理事務所では、平成13年度～平成15年度に国の補助を受け、放流ゲートの改良・テレメーター（無線通信設備）の新設・更新・ダム操作のコンピューター化・事務所の改築等の堰堤改良事業を行っています。

このうち、事務所の改築工事が、平成15年12月に完成しました。（写真：工事中の事務所11月撮影）事務所の改築工事は、新しい設備をより機能的に活かし、余呉川の洪水の防止や、利水・環境保全等、管理体制の一層の充実を図るべく行ってきたものです。 計画調整課 余呉川管理担当

ご意見箱

ご意見・ご質問をお待ちしています

木之本建設管理部では、公共土木施設の整備・管理などを県民の皆様と協働で推進し、より透明性を確保するための情報発信に取り組んでいます。また、情報の双方向性を確保するため、「ご意見箱」コーナーを設け、ご意見・ご質問やその対応などを紹介しています。今回は、このコーナーを開設してから最初にいた質問メール

だいた、電子メールによるご質問を紹介します。

「ご意見箱」を開設してすぐに反応があるのは嬉しいもので、スタッフ一同大変喜んでます。さらに、公共土木施設の整備・管理など建設管理部に関するご意見・ご質問なども、どしどしお寄せ下さい。

回答メール

メールありがとうございます。

「賤ヶ岳」の読み方についてのご質問ですが、地元（木之本町）では、「しずがたけ」と読んでします。広辞苑にも「しずがたけ」とありますので、正式な読み方だと思われます。「賤ヶ岳の七本槍（しずがたけのしちほんやり）」

「賤ヶ岳の戦い（しずがたけのたたかい）」

歴史・地理的な部分は専門外なので断定はできませんが、調べた範囲では以上でした。

今後ともよろしくお願いたします。

柴田勝家の時代には、「賤ヶ嶽」と書いて「しずがたけ」と読んでいたようですが、現在は、「賤ヶ岳」と書いて「しずがだけ」と読むのですか、あるいは「しずがたけ」と読んでいるのですか？正式な読み方を教えてください。

因みに私は「しずがだけ」と読んでいました。

よろしくお願いたします。

ご意見・ご質問などの宛先は・・・

電話 TEL : 0749-82-3881

電子メール E-mail : ha3602@pref.shiga.jp

ファックス FAX : 0749-82-2654

〒529-0426 滋賀県伊香郡木之本町黒田1234 木之本建設管理部

河川事業

淡海の川づくり検討委員会（湖北圏域）を開催！！

湖北（木之本）圏域 河川整備計画（案）の審議

よこがわ おおかわ
余呉川、大川などの河川整備について定める「湖北（木之本）圏域河川整備計画（案）」について、各分野の学識経験者からなる常任委員が専門的な立場から検討する「淡海の川づくり検討委員会」を開催しました。

日時：平成15年11月7日（金）

場所：伊香郡民会館 2F大会議室

議事：湖北（木之本）圏域 河川整備計画（案）について



淡海の川づくり検討委員会（湖北圏域）での主な意見

常任委員からの意見

水の利用について

- ・川に水がほしいという意見が多いことから、水循環を変えるなどの検討が必要と思われる。
- ・湖北圏域は水路がきれいである。また、住民の最も関わりの深い水辺は、大きな河川よりも水路である。年中、水が流れていることが、地域の水路、川への関心を高めるためには必要である。
- ・水を繰り返し使うことが大切である。

維持管理について

- ・河川愛護運動は、除草作業の実施や情報提供だけでなく、生活の中になじむ形で川に関わり、親しむことで、川を愛する気持ちを育むことが必要である。
- ・維持管理の面で「学校教育との連携」に関する取り組みは大変評価できる。
- ・地元からの意見で、堆積土砂の浚渫や、河道内植生の伐採を望む声がある。
- ・河川の幅が広くなると、低水路が分岐して瀬切れなどが生じる可能性がある。そういった自然環境の悪化を防ぐため、モニタリング調査等を実施し環境への配慮をしてほしい。

余呉川について

- ・余呉湖は天然湖なので、洪水調整機能があっても、「余呉湖ダム」という表現は、環境保全を考える今の時代には適切でないと思われる。
- ・生物の縦断的連続性だけでなく、横断的連続性も確保することは評価できる。河川とそこに流入する水路との連続性など、水系の連続性やネットワーク化などについても検討してほしい。
- ・桜については、落ち葉や毛虫の問題などのマイナス面もあるので、地域の合意が必要である。

大川について

- ・大川の計画で想定している「10年に1度程度の確率で降る雨」が、どのくらいの雨なのかがわかりにくい。
- ・学習施設としての計画が入っているのは大変うれしく思う。できれば、計画の段階で地元や子ども達の意見をきくなど、ソフト面にも力を入れてほしい。

傍聴された方からの意見

大川について

- ・地域委員会では、洪水対策を万全にしてほしいという意見のほか、利水に関する意見も多かった。また、高齢化、少子化がすすむ中で、草刈りなどの維持管理が大変であることも懸念されている。
- ・学校や幼稚園などの近くにも、水と親しむ場をつくって欲しい。
- ・夏に水量が減少するので、もう少し水量がほしい。
- ・ブナを植える活動もあり、山の保水のことなども、整備計画に反映されるとよいと思われる。
- ・河床を下げない計画としたことが大きい。魚が上るような川にすれば、人も集まり、川への関心も高まる。魚のいない川に親水施設をつくっても仕方がないと思う。

編集後記

冬になると伊香の空は鉛色の雲で覆われた日が多くなります。湖北の時雨、時として豪雪が、きれいな水となって琵琶湖を満ち、下流府県民の飲料水として絶えることなく供給されていることを思うと、空の色もなぜか明るく感じています。本年もI K A G O (いかご) 通信をご愛読のほど、よろしく願い申し上げます。

発行：木之本建設管理部パブリシティ委員会 事務局：計画調整課 TEL：0749-82-3881